

変な人・理解に苦しむ人

ある風の強い日、何か頭から顔にかけて光って見える人が前から歩いてくる。よくよく見れば、カツラが飛んでしまわないようにセロテープか何かで留めているらしい。そんなもん、風が吹かない会社の中でカツラをつけるのはいいが、風で飛びそうなら、カツラをはずして歩けばよさそうに思う、会社の外やねんから。テープで固定しようとするから、余計に目立つ。変わった考え方の人やなあ。会社の中でもカツラやいうことはバレてるはずだが、本人は騙し通せていると信じきっているのやろネ。

別の人。電話で月賦の催促をするアルバイトがある。仕事だから会社に電話をしたら、「会社まで電話をして来るな！」と怒る。「で、何の用事やねん？」「ADと書いてあります」「ADてなんや！」「さあ？」・・・・・・・・アデランスのことだった。・・・・・・・・いろんな経験しとかなあかんなあ。

大先輩に教わった話。どこか地方の大学教授。患者のお腹に触った後、患者に向かって「君の胃の中には、今ごぼうと何やらと何やらがはいっているよ」・・・・・・・・あまりにも正確に当てたものだから、聞いた患者は「この人は神様や」といたく驚いて、結局その教授が引退してからも、遠方でも診察を受けに行ったという。・・・・・・・・そんなもん、外から触って胃の中身がわかるはずがない。なぜわかったのか？・・・・・・・・せっかくのことだから、教授の名誉のために解答は書きませんが。

市立病院の日直に、年に2~3回行かなければならない。先日がそれで、それほど忙しくなかったのだが、最後に若い女性が来た。22歳何ヵ月とある。扉を開けて入室して「こんにちは」・・・・・・・・「どうぞお掛け下さい」とひょいと顔を見たとき「ワーッ」と叫びそうになった。当然体は半分逃げ腰になっている。なぜか？ものすごい厚化粧で、一瞬「お前は志村けんか！」とツッコミをいれそうになった。いなかっぺ大将の大ちゃんが女装するときのように頬紅が強い。・・・・・・・・非常識なのは、化粧が厚いからではなく、病院を受診するときに化粧をしてくるのは間違っている、というのを本人は知らないかもしれないが、親も誰も教えないことの方だ。プロスポーツ選手で、何かで医者に行くとき、化粧をしてくるバカがいる、というのを聞いたことがあるが。

昔の話ですが、ちょっと場の雰囲気を読めない男がいて。あるとき、彼女とデートをしていて、喫茶店で彼女が話の接ぎ穂に「どうして飛行機は空を飛べるのかしら」・・・・・・・・件の男。航空学科にいたので、およそ1時間半近く、飛行機の説明となぜ飛べるのかを一生懸命

命図まで描いて説明した。・・・当然ふられますわな。今は、奥さんと子供にもめぐまれている。奥さんは、「飛行機はなぜ・・・」という質問をしなかったらしい。

TVで流れてくる情報やインターネットに書いてあることを疑いもしない男がいる。「風邪をひいたとき、風邪薬を服むと、自分でなおそうとする免疫力が働かなくなって、風邪の治りが遅くなる。だから薬をのんではいけない」と著名な医師が言ったから薬はいりませんが・・・それなら君はここに何をしに来てん？　・・・そういうことなら江戸時代の、薬をのんだら高価なため一家が飢え死にしてしまう時代と同じで、ひたすら寒気や高熱を我慢して、じっと寝ていればいい。運がよければ治るだろうが、悪ければそのまま死んでしまうだけや。どっちにしますか？

TVのバラエティ番組で、いろいろなことを語り続ける連中が居る。どうせ他人のした仕事の話をするのでメシを食っている連中である。まさか、すべて信用する人はいるまい、と思っているらしい。ガンにならない方法とか。ほんまにあつたら教えてほしいわ。答えはきまっている。タバコをやめろ、酒もほどほどに。ご飯は野菜から食べる。太り過ぎないように、メタボリック・シンドロームにならないように。刺激の強い物は控える。・・・そのうち「食事を摂ったらいけない。ガンの原因になる。」とか言い出すんじゃないだろうな。何のために生きているのか、わけがわからなくなって・・・その人の楽しみをすべて奪ってしまい、それならQOLはどうなるの？　自分はどんな食生活や日常生活を送っているのか？　老化に対してはどうしたら？　・・・追求すると、信じるほうが悪い！

ある医者がコレステロールが身体に悪いと信じきっていて、患者が一切食べなくなった。ところがどんどん痩せてくる。たまたま近所に住んでいたから、話を聞くと「栄養失調と言われた」「ブッ！」そらそやなあ。この飽食の時代に「餓死」する人はまずいないですもんなあ、「なんでも好きなもん、食べはったらよろしやんか」　しばらくすると、血色もよくなり、疲れやすさもなくなって、元気そのもの。ちょっと太りすぎやけど。

近所の人。家はあるけど金がない。収入源もない。どうやって食べているか？　吹田市内のコンビニで、いつ弁当を捨てるか、熟知している。で、その捨てた弁当を家に持って帰って食べる。入れ物は庭で焼く。いっぺん、消防車が出動してえらい怒られて。それから、コンビニのゴミ袋のそばで食べてその場に捨てる。着る物は、近所の人にもらっている。石鹸などの必要なものも、やはりもらっている。毎日市内を歩いているから贅肉など少しもない。脚など筋肉の塊みたいなもの。・・・人間羞恥心を忘れたら、生きていけるものです。